

1. 尺八本曲二重奏曲 **平和の山河** 中尾 都山 作曲

尺八Ⅰ (D管) 木藤 真山
尺八Ⅱ (D管) 大門 胤山

解説:

平和条約が締結され、敗戦の日本も独立の喜びを得た時の記念曲。「国敗れて山河あり」という古語もあるが、敗戦から占領下の苦難を経て今日再び独立の日本が甦るまで、人の世には大きな移り変わりがあったのに、故国の山河は常に不変の姿を保っている。しかし、その山河も見る者の眼には、特に平和の光に輝いているように映るのである。

2. 第三重奏曲 **グリーンウインド** 吉崎克彦 作曲

第一箏 湯井 麻里子
第二箏 榎戸 二幸
第三箏 橋本 みぎわ

解説:

1章 舞々

舞々とは、空気の流れ、木の動き、息づかいといった動的感覚を意味している。

2章 静寂

穏やかな中にもやはり動きの激しい曲になっている。

3章 一過

過ぎ去るもの。一つ一つの音はリアルタイムで過去のものとなり次々と転回する。動きはとどまることなく最後まで受け継がれ、作曲者に残された記憶は「一過」

作曲者解説より一部抜粋

3. 尺八四重奏曲 **民謡組曲** 船川 利夫 作曲

尺八Ⅰ (D管, E管) 大門 胤山
尺八Ⅱ (D管, E管) 富田 浄山
尺八Ⅲ (D管, E管) 木藤 真山
尺八Ⅳ (A管) 高橋 慧山

解説:

昭和48年6月出光興産邦楽部の委嘱で作曲された。

1尺6寸、1尺8寸、2尺3寸管の3種類の尺八を用い、馬子唄、阿波踊り、よさこい節、五木の子守唄、最上川舟唄の5曲をベースにアレンジした組曲である。



4. 尺八と打楽器による **宵宮から本宮へ** 長沢 勝俊 作曲

尺八Ⅰ (D管) 大門 胤山
尺八Ⅱ (D管) 木藤 真山
尺八Ⅲ (D管, A管) 富田 浄山
打楽器 ・ 指揮 高橋 慧山

解説:

宵宮とは祭りの前日に行う前夜祭のこと。また本宮とはその翌日の正式に行う祭礼のことをいいます。日本の祭りにはこの二つが一体となり、さまざまな行事をともなうて行くものが沢山あります。われわれの先祖が長い間かかって創り伝えてきたこの文化遺産は、いまわれわれに多くのものを語りかけてきます。この曲は尺八の合奏と打楽器により、この祭りへの想いを描いたものです。

5. 尺八箏合奏曲 大河へ

石井由希子 作曲

尺八Ⅰ (D管) 富田 浄山 高橋 慧山
尺八Ⅱ (D管) 大門 胤山 木藤 真山
第一箏 湯井 麻里子
第二箏 榎戸 二幸
十七絃 橋本 みぎわ

解説:

1998年、千葉邦楽合奏団の委嘱により作曲、第1回定期演奏会にて初演。曲は7つの部分から成り、それぞれに「清き流れ」「おだやかな流れ」「水と戯れて」「月に輝いて」「激流」「流されて」「大河へ」というタイトルがつけられています。合奏団が「現代の邦楽界」という名の大河へと流れていけば・・・との願いを込めて作曲いたしました。

第2回

JI MEI SHO 自 鳴 鐘 コンサート

尺八箏

出演 大門 胤山 富田 浄山 木藤 真山 高橋 慧山

賛助出演 湯井 麻里子 榎戸 二幸 橋本 みぎわ

とき : 平成18年2月17日(金)
18:30 開場 19:00 開演
ところ : 大泉学園ゆめりあホール



猫イラスト by 散歩道 : http://www.h4.dion.ne.jp/~san_po/